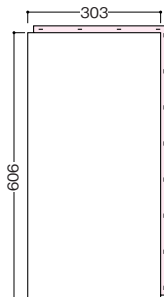


施工上のご注意

- 施工中および施工後の使用環境等によっては製品基材特有の臭いを感じることがあります。窓を開けるなどして十分な換気を行ってください。
- 施工された部屋は、気密性が高くなりますので法令に定められた換気量を満足する換気扇を必ず設置して下さい。
- 必ず、接着剤とステープルを併用してください。
- 湿気の多い場所(浴室等)への施工は避けてください。

ステープル取付け位置

正面図

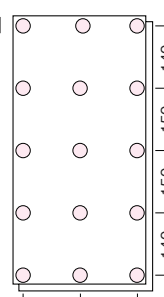


※1枚につきステープル12本
※取り付けは、ガンタッカーを使用し、ステープルは必ず足長さ13mmを12本/枚使用してください。釘打ちは実を傷めますので避けてください。

釘打機 (推奨機)	●手動タイプ MAX ガンタッカー TG-A(N)	●エアタイプ MAX釘打機 エアネラ (ステープル幅10mm対応品)
	肩 幅 12mm 足 長 13mm (推奨品) MAX T3-13MB	肩 幅 10mm 足 長 13mm (推奨品) MAX 1013J-S
ステープル		

接着剤塗布位置

裏面図

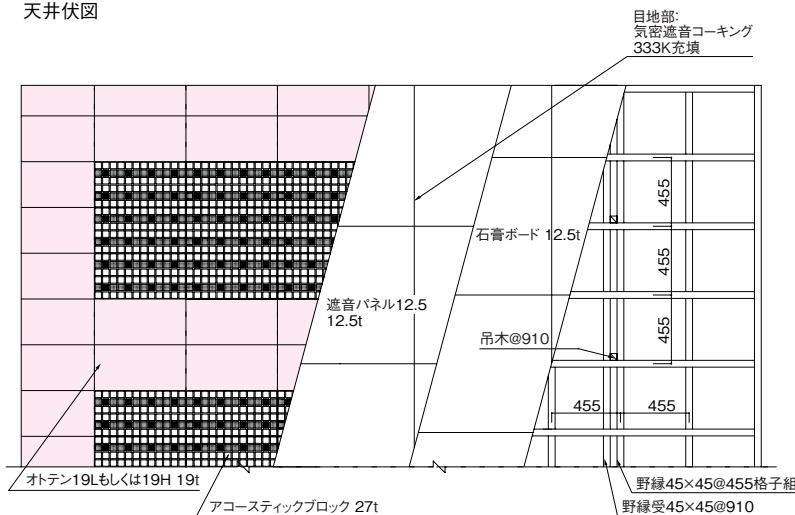


※接着剤は必ず酢酸ビニル樹脂系エマルジョン(木工用)を使用してください。

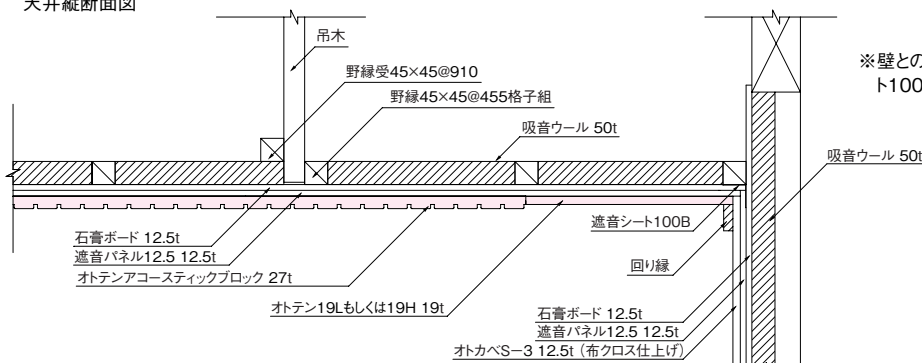
標準使用量:30~40g/枚

アコースティックブロック、オトテン19の施工例(天井、壁の構成はスタンダード防音★★構造例)

天井伏図

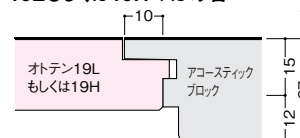


天井縦断面図



アコースティックブロックとオトテン19Lもしくは19Hのはめ合い

単位はmm



※オトテンは遮音シートと一体化しているため、遮音パネル12.5、石膏ボード12.5と併用すると重量は約30kg/m²になります。下地強度に問題がないかをご確認ください。

※捨張りの継目と仕上げ材の継目が重ならないようにしてください。

※200W、アコースティックブロック、ブロックシュガーのボーダー(まわり)及び照明器具取付け部分には「オトテン19Lもしくは19H」を使用し、流し張りで仕上げてください。

※外観をきれいに仕上げていただくために、センター割付をおすすめします。

※壁との取り合い部など隙間のある箇所は、遮音シート100B(GB03016)で隙間をふさいでください。

遮音性能^{*1}

(単位:dB)

製品	周波数(Hz)					
	125	250	500	1k	2k	4k
オトテン (200W石膏ボード捨張)	200W	18	25	34	37	45
	19L	18	23	34	35	43
	19H	18	25	34	36	44
	アコースティックブロック	15	22	28	35	41
	ブロックシュガー	16	23	29	34	41
石膏ボード(12mm厚)	17	16	22	29	36	35
合板(6mm厚)	7	10	15	20	24	21

※1:実験室での測定値です。実際の現場では様々な条件により性能は異なります。

吸音性能^{*1}

(単位:dB)

製品	周波数(Hz)						N.R.C.
	125	250	500	1k	2k	4k	
オトテン (200W石膏ボード捨張)	200W	0.36	0.28	0.50	0.69	0.85	0.58
	200W<ソフトブラック>	0.33	0.27	0.46	0.63	0.79	0.54
	19L	0.40	0.22	0.31	0.38	0.47	0.35
	19L<ソフトブラック>	0.37	0.24	0.31	0.39	0.45	0.35
	19H	0.43	0.26	0.43	0.58	0.72	0.50
	19H<ソフトブラック>	0.34	0.28	0.44	0.60	0.74	0.52
	アコースティックブロック	0.43	0.25	0.46	0.73	0.85	0.57
	アコースティックブロック<ソフトブラック>	0.39	0.27	0.46	0.67	0.87	0.57
	ブロックシュガー	0.43	0.28	0.42	0.63	0.83	0.54
	ブロックシュガー<ソフトブラック>	0.45	0.28	0.40	0.56	0.73	0.49
石膏ボード(9mm厚)	0.19	0.09	0.08	0.07	0.08	0.05	0.08
合板(5mm厚)	0.18	0.21	0.10	0.06	0.04	0.11	0.10
カーペット(3mm厚)	0.02	0.03	0.07	0.15	0.35	0.42	0.15

※<ソフトブラック>は受注生産品です。